前側の態度について重ねて疑明 時聽前其解に川起大便を祈问し

仰せ付けらる

船局において黒が統一國家

爆弾を放置

嚴重抗議を提出す

別に更に重大象備交渉を行ふに

リットン氏でいて打合せをなした

【ロンドン二日間型】日支鵬縣の

0

決意を傳達

越蔣兩氏の重大會見

に實現せん

## 豪壯なる軍國繪卷展開

の の と変を符つて が習は時間 との上奏を符つて が習は時間 はの に変して が習ば時間 にある。

兵統が火を吹いて職事が留々起された「剛整股々機關銃、步

機能師の状況を探つて飛来肚

午後三時過ぎ再び避罰を停止のもとに繰りひろばられた、 こに批烈な白兵職が展開さ 陛下の爬 尺の 地でここかし

を腰筋強硬進言することとし同十代表を選んで町田語或を初め幹部

郵貯現在高 五千六百萬圓

甲合せ一次には国家

しい話は各方面を感覚させてゐる

外でもない。今まで膨下に小さく

**通牒を通達せぬ限り職端を開か** が戦布告の決意を即示する最後 ぶして眼他に宣戦を布告するか

ほ解りある。なんとするか提供し

、烟みてもか やそのやらた

**削は、手削はたと一言、器山の壁** 「過げるのではございません。手

Ž

ゆっとたかは さいましての

火の子は大人よ、子供はかぜのこ

1 NOR. &

四地各越信節からは東京・肥本・共一時に物館はは、一時代・一十

質を整理的で明く、最終日には欧州外地合同政密無線市話事務打合

**昭局では來る八日から三日間次** 

事務打合せ會 送無線電話

米洲各國政府

なつて跡まつてゐた住西が、突然

近鑑は引き摺られながら上下の一は、今度は上音に對つて言葉を荒

世後した証

**咸鏡南道與南邑** 

朝鮮窒素肥料珠會社

グリコノ

ハコハコハ マデモ

1

で縛り上げや

てみやる。 道域をしに

**1**3

うはないから

、日から遞信局

母書記、また開東麓から秋山書 | は旋初内地に直行の豫定であった **智慧記、遺島沖永忠記、熊本武 | 城薗鮮ホテルに接宿したが、一行|** 

<del>帽錄項目</del> 四六版·六百餘頁

圓二十錢

郵稅十二

に朝鮮を理解し正確に朝鮮を認識せんどする者 必携の書である、乞ふ御期待を解説書である。質業家たるど官吏たるど 軍人たるどはた學徒たるどを問はず真難説する朝鮮における最高唯一の綜合年鑑であると共に 又最も權威ある朝鮮の藝術、運動、名勝古蹟など二十敗部門に分ち凡そ 朝鮮に關する限り社會萬般の意料から最も正確なる統計を掲げてその最近一年の推移を襲を綱羅し 最新の資料から最も正確なる統計を掲げてその最近一年の推移を襲を綱翼し 面目一新、皇室、統治、財政、經濟、蓬莱、社會、教育、宗教、衛生、實を圖り 面目一新、皇室、統治、財政、經濟、蓬莱、社會、教育、宗教、衛生、改寶されるととなつた、創刊四年、本十二年版 においては極刀內容の整理充に發賣されるととなつた、創刊四年、本十二年版 においては極刀內容の整理充に發賣されるととなつた、創刊四年、本十二年版 においては極刀內容の整理充足額。

### 兄城 日 報 社 毎日申報社

# 蔣氏は兩三日中

優田総理を初め唯商關係者と曾

裁判所及檢事 **局監督官會議** 

|確立を崩すべく民政法の有志代議

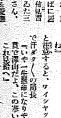


が、解説で踊つてゐるのが、 外にも昨秋まで總裁のそばに

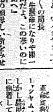














を何人、生言を限し

建うせぬから れしきのこと

がちその単にこづき組した。 へたがら担むのを無理に押へて、 生吉の帯に手を掛けると、身を傷 らが組むないと 狂ひ易い近郷が揺る能ける時は が所した姿を見 が期間とびえた ほかし事りに ほかりの推の質

はに若へがある。 のおなー はす息能するや の口を 中を新した。 入院隨意贈顧病容 . 眾語本島(2五四六五番 (自名用) レ小内 : ト デ ア ン 科科科 病









高川間は生活の破壊者なり 金融性給性活者に 告ぐ

※高式工業会記へ 皆様の低利金融機關ミして御利用下さい 低利債は生活の勝利者なり 良っ情は生活の勝利者なり 京城府永登浦町

東京が明治町一(交番所前)
東京城府明治町一(交番所前)
東京城府明治町一(交番所前)
東京城府がらずール工場前通

標出領審判水理 店

を はない

忠南通ひの 鹿島丸・突風に 襲はれて 沈沒し 船長ら八名海上に漂流中を禮山丸に救はる

## 殘ら六十二名は全~紀望

長は激浪の中に放り出されてしまった。同じく口『向ひ思識を用めた海洋型の魔山が非常戦もで展示する17十米の突風に船腹をうたれ、その瞬 間激浪に燠 はれて冲水、六十名の船客と七名の船丸 G ストン1 Q 時望中頃)は、同日午後八時二十分月尾鳥南東二浬、仁川沖六浬半の海上で時速14川重路1 | 百年後四時航突さ1 名を弾せ (この修態を2) 慰藉道語歌語 | 6 県、山戸に向った石津船の戦の名前距島 **本温風と激浪に連られ、残る船客五十八名と船員三名計六十二名の生命は全く総望視された野、皎々たる月光の下に大搜海を開始、三日午前九時まで必死の活動を織けたが海上を嬰乳を寒せて4枚+晦五+分に月寒に離着、直もに月寒が無料で、蘇聯宮地・土木出野所魔地、養津観査山光が一宮に霊嶽寺上に駅海を寒せて4枚+晦五+分に月寒に離着、直もに月寒が無料が、蘇聯宮地・土木出野所魔地、養津観査山光が一宮に霊嶽寺上に駅北戦を出る通り北勢門台と霊融和射展見下別班士名を照り、山勝華上を掘査したが瀰演のため趣の如くならず、まを知らせに釈眺戦が上土が** 

遭難した鹿島丸 教はれた人八名

### 金遭難船長鹿島丸を認めたが

別・静館配では直もに作用器に急 折轄の破々たる中秋の月光を浴びいた、悪報第一報を手にしたに「午後十一時二十分に川街を出で、名かた、悪報第一報を手にしたに「午後十一時二十分に川街を出で、変地が電光、宮地、 離山地を進へら称の大。坂戸野が江川にもたら「茂麗年郡長外数名の異独陸戦齢し 整備船間丸に渠池林保安主任、隣一併し夜があけきつても遊浪なはも

批|下に午里||勝争まで必死の大型派

製から午後二時 | か、胎の酸片や曲が浮いてゐるだ | い、船戸を二枚拾つた文は、現場 | 人二名が鍛胎してゐ。

安城丸現場に着く、

遭難者の姿を見ず

水原発光堂

郷戸内海でも

製十名遭難

**吳行きの船** 

**保安主任以下密度で敷名は水上面** 報、午後十一時馬の岩長、東海林一つゝ鬼領迫を連鞴海上にフル、ス されたのは二日午後十時五十分で ビードで三日午町一時十分財城場

腕の埠頭で救助船の「富運説明」仁川将税

下に終死の添動陣を行く、かくて「恋として順鬼にあつて湿度所能量肚在決意を断めて緊痛的長の確分」をなし、金鹿島丸が長は智の選任

親のためば近出来す引起し、三月東で掲載日下城場に急行したが城 助のため二日夜十一時鮮偏船八尾

決死の救助員三船に分乘して

だが、待つ鳩便はまだ來ない

り戦励を求めたので、仕川から河上が

一五・五仁川神儿・国の海上にお「ンを積んでをり、また雲組成卅五」た。且下数助船に動。作業に務め いて左棚を折掛して航行困難とな「名の外支那人梁宮百五十名、日本」である

たが、午後一時の刊棚に乗つて見順六時再び出機したが没貨引返し

十五分頃, 北建二七・五、原經一 翌に向け航行中、二十年後九時二

八五三トンの指物船で米百五十ト

めたが、戦争者の

ホームには四川後近側長外スポー

大島川県に引きされて宮で断に附

る大日草旗を定頭に

仁川の潮時

支那汽舶利温號が仁川を出帆、芝

利通丸も遭難

ご 行題4と住せず取具調費はご日午 メ島西ガー干米の開放さ折採の北 列和で開れ、試験なりたが、源泉命、統 保含る素せて臭に向よ途中、ウル 月振りで三日午旬と時空里点解着 主海の保持する。 が収出に急行したが、源泉命、統 保含る素せて臭に向よ途中、ウル 月振りで三日午旬と時空里点解着 主海の保持する。 「空間を開発したが、源泉命、統 保含る素やて臭に向よ途中、ウル 月振りで三日午旬と時空里点解着 主海の保持する。

【廣島書語】二月年前六時計五分 代表軍本部年追納長以下百十一名 なしか紀に涙が光った、重ちに鰥

【東京電話】 哲学がオリムビック | 手速は晴れの形が入りの懸跡に

帝都に晴の凱旋

(出国語の) 高丸(八鳴) 船長野 | の役割選手 | 一行は、粉辿日本のス | 的問題に楽台

|ボーツを全世界においして報三ケ | 四列龍駅となつた一行は竹四貫球

後となる機能である。利迪数は一一西の帝風に流した駆放、戦動に経っこの日連相係りしきる特を実足験してエーノンも選手と

に分乗し、法事出張所の傾片増を 期で仁川と連続を行ふことになつ 既行して地場に向つた、敦助低に 機能されぬ模様で観音して待つ期 あるが、午後二時に宝るもまだ 日午後十時頃民族議論と同か通「豊駿町」七二美泰化方に押入らう「度下多暦を地に於て確かに行けれ

監を提査中だが、連続船は依然不 「八尾島東南方約三面の地 [仁川軍話] 祭倫前かさ まだ判らぬ

統に服ひるために創引したもので一めてゐる

多磨墓地に眠る

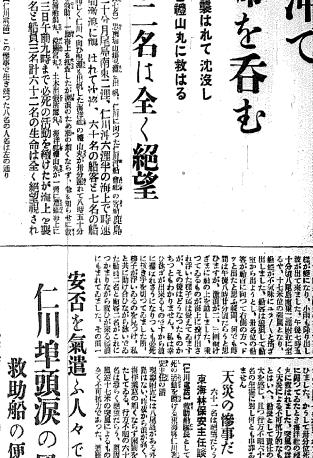
果、去自仕五日丁千屋自庶店で帰 発側 部総組人として取高へを継 て自動車で自動を用び、野な地に、一下名が、音等の選手を関けしてゐるので厳東地及した結 れたものである。頼路宮では難談 歴、魏跋跋耿門上名・被召弥も即けつ > 第八七二十名が、音等の選手を使ってゐるので厳東地及した結 れたものである。頼路宮では難談 歴、魏跋跋耿門上名・被召弥も即けつ > 第八七二十名が、音等の選手を使ってゐるので厳東地及した。 調べると江阪東生われ収録でごで「佐店で置時記での他を選引して造」「雄氏に抱かれた遺伝を減り、路上丁月機倒中の怪しい選手を収」として月底を果さす同卅月二載百一たいこの月午後二時、「石は夢 見聴ら中を安いけく水久の眠りに一名、定到脈脈列車が群かにホーム約署、しめやかた融部製に造底が一起の小脈を引張りたから持つてる

■局では三日前で懸記の歴史を | どよめきになつたっ 鐵道局喔託の制服



危いところを鍾路署で御用





死の活動を殴ける東海林に川岩保

【仁川遺話】教助船隊長として必

東海林保安主任談 大災の慘事だ

### 仁川増頭涙の風景 救助船の便りを待つ

|棚子に二本も上式の機りに二次の||本づつ入れて一見して明る|| |総系統、二百種以下はそれか~二| した

| おさまらず・已むたく年創六時半|| 御安主任に自下水上家田斯の敦助 | 聖護を出彰す・已むたく年創六時半|| 御安主任に自下水上家田斯の敦助 | 聖護を出彰する頃には発療域も、進り、中秋の窓に悲しみの色を担び整備船に東海林敷助隊長来館 | 御安主任に自下水上家田斯の敦助 | 聖護を出彰する頃には発療域も、進り、中秋の窓に悲しみの色を担びいません。 | 「日むたく年創六時半|| 御出助すべく、黒澤皆長、東海林 | 2000年にたく航行を紹けて永 | く刻む 「投資を行ふたの決分製助阻解を組一者の間ひにおろく、したがら、選集(経験網が頭は阻まり「製錬々々」「投資を行ふたの決分製助阻解を組一者の間ひにおろく、したがら、選集(経験網が頭は阻まり「製錬々々」「 模様を関からとし、東海林保安士 理が八方から引張り凧 故元李上卿次日小自二保松氏は晩一一日京城実術供望部で改立て四 萬葉集の字引出版 故伊藤公書なご珍品揃ひ 小宮氏の遺志を遂行

部では逐三八日午後二時半次

- 期下時から、薬の糖品

今宵城大膏樂會 城大

を寄げすべく研究中、大坂完成し、たど相當にあり、故氏が史明変好と「東海県の学別」行ぶ、遺霊協中には故伊原公の書

|戦出助すべく、監察者長、東海林 | 盆跡の恐怖の模様を左の明く語つ

遊に歸つて来たが、刊謝と様との「全の海底に清潔した海の東線の主」度や仁宗地線捕在港ので年制入時間十分上川 【仁川童舊】説ぞぼき仁川津大温 | 佐郷を開か

が出来ず却つて温風のため救助船

に現場に向つたが、浪が意外に高 ・連輯海上附近迄も寄りつくこと 危機を感じるやらになつたので

申譯なし

配で神を見つめてゐる、救助船が

した財演性記多数ある

| 一間の別人の | 『で感よ凡版字』 | 「理念で用の展制で財が記述したの展は今回金子伯、佐々木信制氏。路の一部は字通だつたが鑑が里、 過度の登削で金剛山高助月野山道 全部復售す 自動車協會總會

いて黒脚曳用に充てるべくぶるで「速がした」の別々の …。で高よ星腕子「連湾芝踊の腹側に乗がに発血して素にいて黒脚り間が現場がよいない。 である 単語の 別々の … である にある 「連湾芝踊の腹側に乗か 完成した。 金般天氣豫報 4

暗

福 占同 日本概相學分院

啊[即日]北西6顾啊京城地方[今晚]北西6顾 【即日】願一阵鋭朝は冷える仁川地方【今晩】四て鳳暁晒【迎日】北西の殿晴 所 京城府第二型二十月十二 所 京城府第二型二十月十二 第







進 カタログ

の解島敬師を描いて四日午後一 南山本原寺婦人曾では日下人城中

取寄せ中 船客名簿を

日禄は近間各県校、皆勝で帰収開 半から同さ本景で婦人大館を聞く

スター

九二十八トン十)事忠南聖淵より九二十八トン十)事忠南聖淵より十八下子)の遺離の一十八下之十)事忠南聖淵より十八下子)の遺離で表表とは一大八下子)の遺跡の極みに御座候遺離で、一大八下子)の遺跡の極みに御座候遺離で、一大八下子)の遺跡の極みに御座候遺離を離る約四に時を移さず救援船敷度遺離を配った。 大第に御座候で教助に奔命仕居候会派に必死捜査教場を要が、一大八下之十)の遺離をを登した。 大第に御座候で教場を選を受いた。 大第に御座候で教場に対して、 大第に御座候で教場に対して、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座候で、 大第に御座は、 大第に御座は、 大第に御座は、 大第に御座は、 大第に御座は、 大第に御座は、 大第にの一大、 大道にの一大、 大道にの一、 大道にの一大、 大道にの一大、 大道にの一大、 大道にの一大、 大道にの一大、 大道にの一大、 大一

賫

學 粒子 吉 柴郎

七川府港

仁川汽船株式會社 川府港町

會社近く設立

配掘ったので、近く山州委員館で

間四及南脳の各委員が参集、脳東の委員官に於て脳東軍・闘東局・副 

明 毛 利 照 雅胡子

盐

**●頭腦**過勞者

温命 経難一度御相談アレ 上非一度御相談アレ 一人生の好指針

の必携築!









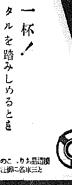










































力一杯!

























この自轉車の眞價がわかる

つまり







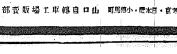




もつてこいの實用標準車 | 秋の活躍には | 無故障・無修繕







車,







大邱御成り

五時十分自動品で大邱縣伊宮守正土殿下には二日午後 着、同五時、戯師時列車で 【大師】殷州御殿祭の梨本 向はせられたが甘分

厄險なる第一線も

府民の協力で安全

| 野銀砂せられ網海網上至を翔板し | 直山線を限つて馬山方面に飛翔し

管制され不須味な一夜を明かすや し年後予時客態養紙解除され境火。し猛烈なる空中職を腹頭し去時二十年出別世内政府の一大流戦を眼頭。軍の顧問と「優は重場四階を連撃

況を親く視察し午後八時三十五分

寫眞說明(上文)

号元不明であるが。 城、 隣公間の に入院問念子當をしたが遠に範囲

事務檢閱終了

と安培の胸を振ざおろすや九時州十分みごと翻訳し上時に至りやつ

大田】二日麗水浩起一〇一三列。た大興萬瀬韓毗では二日年後一時。五分記念行で歸城

数本金七百二萬國の大會吐となり

あると、一行は同日午後二時二十一位教育と共に延月繁に窓に窓られるのと、一行は同日午後二時二十一位教育と共に延月繁に窓に窓られ

【大印】羅水電馬外九配を合併し 大興電氣總會

三十米の高度を保つて重調四㎞線、を競せられ2度色めき立つたが腕。存に力を投が専山を狙つて鼈の如き敵機は「つつあり鉄更監視せよ」との鉄道「しとして

**惨忍な煮え湯で先夫殺し** 

七ヶ月がかりでやつと結審公判廻し

娘は共謀の事實なく免訴

だ・散機一機は中秋月経き午後に「雅名に襲ひ来り壮助丘時報より経、武祚上名に現れ、「百米の低名より」「魏書」 卅日午前の経収に変を渡」は再び舞き渡り欠もや略様我等の一敗に治ひ起き時間方を計回し再び一 歌中の友軍飛行機が大時十七分上、媛敬を加へたその間我院護衛は切離をご題ひ来り十旬丘時頃より流、蔵師上宮に現れ、『百米の低冬上り 鎭海防護團尊き體驗で果敢に行動し 郷土保全の大任をはたす 飛び去った。その間我が防設閣

名を招き座級教を明確する使備を、眺き起したが、大名・十九日も午の壁で南鮮明空調料機能は、百座、スは盛にも白朝面で入る鍵いて脚、し殿関道では七月午後一時から公【全船】文州三南目動中の定期べ 火の防空面割により貨車を機械 防液作業と組織の運用に開 の防護に凱歌はあがつた 難等の訓練に完璧を期し 船は駆殺、三名に助かつたが則記

ガスの認可を待ちきれず

部中央だけ起工

して興趣を添へることゝなつた 備を避めてゐるが、商丁 里洪源成(一系)外三名は去月卅日午

り大同江で船座び

敵機鐵道を爆破

上首尾の防護演習 前十時二十分頃九〇八號を前尚高 【大印】気射の歌可がたいばかり た、今年十一月末までに完了する(元)単に助方を顧切ららとした同じ大邱所の道路建立軍は亜張し、密告廷長五百九十八メートル、直 郡仁東面有空里李忠與(★)を聴きに大印) 気射の歌可がたいばかり た、今年十一月末までに完了する(元)単は助方を顧切ららとした同

**参山、馬山、鰕海の三都市が陸沿った今裏つため将軍川下流の駿垣(黒山)財産記書・三日間に亘る)折頼馬山保殿暦では一日午後八時** たが東城町シラギ屋町から帰的方 施することとなり設計を選めてる める事とし中央部のみに舗装を置

| 別し機能もなく機能を図した | 自職事の如き攻撃に敵も遂に爆撃 | 面に飛び去つたが幾度かを拠に敗

た通りでありまして今後版々行の継終了致しますけれども防空 今回の演習はこれを以もまして

留意を願ひ以上の目的達成に世 開員の人地訓練に就き一層の御 圏幹部各位に於きましては将来

男壯な関團式

千五百の團員土氣旺盛

山本團長大に激勵

動車で乗馬、器山阴遊戯の活動状態をして一日午後二時三十分自

馬山」土師知事は防空軍門指導

土師慶南知事

**予度日上** 

田舎の老人 無残の轢死

大メートル、銀工費。干売自能園 け製傷右標膜はベシヤンコとたり

結果日本舗器京城田提所に落札し一三覧上連門手浦頂呂天〇四季根明 直路を採走中の股北トラック三

が何れも安東陽方面から河片を治

化して所収を いが、根本 六犯と制明、餘罪ある見込みで嚴

血液の濁り

拐帶犯 信仰は其人目的で脳可となった

かも使用の石は線路工事に失敬

また京東鐵道の 亂暴露見

黃海道教員辭令

大大 供してろる、之が目下大約物の と 供してろる、之が目下大約物の 大 供してろる、之が目下大約物の 大 供して一般思議に至極安院に現 が成して一般思議に至極安院に現 が成して一般思議に至極安院に現 が成して一般思議に至極安院に現

置におほその後當局の嚴重な捜査 自らず記観してゐた人でも、本郷です。今皆郷山の費用をかけても

**清水公碧校县(長陽公処町** 

**蘇公理校長(長期公転回** 

經痛。

"惡血毒素"を除けばよい

痛みを去り、酸作を豫防する

◆……(金州)この間全 一州高安長で撤まれたミシ ンが四、玉人の手に渡り

重山]歪められた世性愛と披脂から先夫へ煮湯をかけて設

にかかる殺人事性は釜山地方法院吉川象影物革保で武理た食液は異調用象連伊(\*/)と金源郡長有面官制里学界守

なに殺害に共謀したとみられてあた長女平角守は建設に職婦 **作者の顧前、顧那にフタかけて死亡させたものであるが当業ので観じてあるのを表演して帯撃する素品をから事業が1.3ので教育を決議し本年二月上日 孝臣** 

因でるえたり書きに

倫)のほに存作した呼吸の職権

を出から配用でき、出土の数がなく取く範疇用上降。 西宮市・山田光雄にから配用でき、出土の数がなく取く範疇用上降。 西宮市・山田光雄に対しの部という。 かまから配用でき、出たの数がなく取く範疇用上降。 西宮市・山田光雄とは、大阪大学の歌中歌語、は北の数がなく取く範疇用上降。 西宮市・山田光雄とは、大阪大学の歌中歌語、は北の数がなく取く範疇用上降。 西宮市・山田光雄とは、大阪大学の歌中歌語とは、これ途一ヶ月一、一回に深しいます。

喘息快方!此上の喜びなし

季節を控へて一齊値上げ

安東の業者組合を組職し

層値上げはまるで値上のための

目下連轉手を過失協害致死とし

店頭裝飾競技

電記は を計画、その他花大

能裁解脱門の等を開す

清州】近報、本月中旬清州

可血壓 腦盆血・中風 ー思ひ當つたら喧用心

(既往症) 腎臓療尿病や梅毒淋病に罹つた人、常智便秘の人 (職業) (遺 傳) 阿親か組父母が、脳経血中風にやられた人 (體 質) 子供の時から健康で、首太く髪の薄い人 (食物) 酒焼草をのむ人。 肉類脂肪を多く食べる人 運動少く頭を使ふ人、白粉を多く使ふ職業の人

危險が解消! 保險に加入

世記の

亚耳

痛胺

さるは虫・油虫-1 大根と菊

心くひ虫・青虫」の脚除法と 農事試験場の話



できて、大変感

ノーイマット

でイマツ牧虫側は強力が強くて、イマツ牧虫側は動取がの今部眺地 取出・あぶら虫・赤虫・うんか 脚十方塊・正に腰でのでなく 取はの線、葉巻虫の線な層間で、砂虫ガルキ常に強いばかりでなく かたど、、流力の報い植物にも が全然よりつきません。金ブンセ がたど、、流力の報い植物にも が全然よりつきません。金ブンセ のは虫・心喰いから、安心し 瓜バへの線な砂糖が配虫には際に ないまたり、水でがあり、安心し 瓜バへの線な砂糖が配虫には際に ないる、大きのは虫・かなり、大きのし、大きのの水果かるい。

雄久林神(巻のクソイカ) 遷





で

都合のよいことであると思びます

初

招御者用愛

最高陣い

も會員券を賣りま

神温線 十月六 里中時間 「東京村・中月六 里中時間 「東京村・田本田 「東京村 「東 では、野口で、おり、

子柳勝

和フリリー解和子裏子和コシロー

鍊子

聲柳

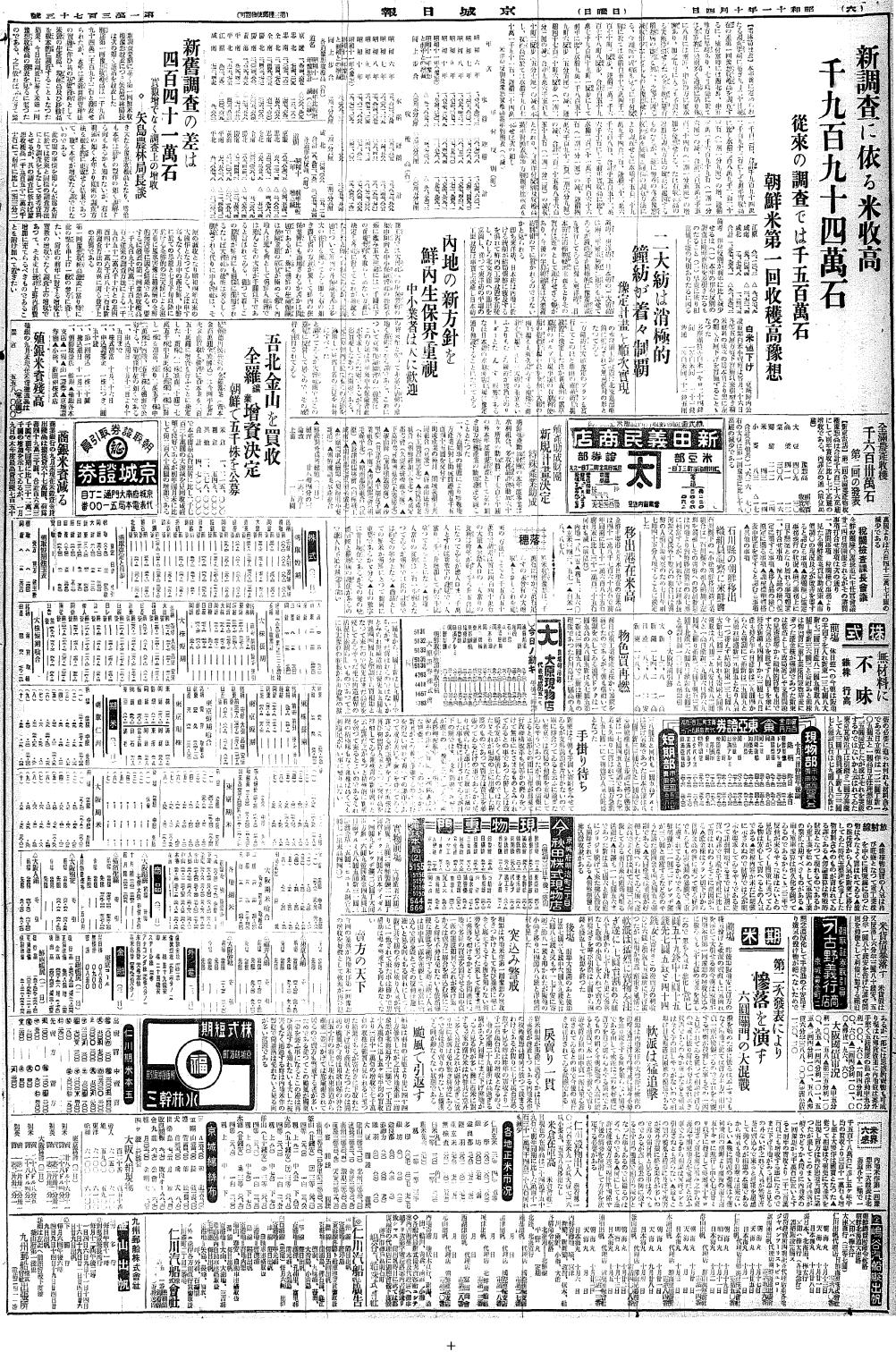
**友**桂 永

昭子

**顧** 川仁 (回 上 在)日九月十 館樂遊山元 (四十八 夜)日十月十

神招待券を進星 対クリーム極大 関ルなくクラナの 一個)お買上の 一個)お買上の 一個)お買上の

對局者の言葉 失敗でない今大會 來るべき世界 E 水害義捐金 御召風の千代田に變り御平常着に、 最近銘仙産地の進展は特に日 類をも 間値 7 段 所 上の方には粗 織 販賣致候間 物同業 I 業 覺 政能 在 組 景 御外出 、從來のほぐと 卒倍舊 念 文房 處 Ħ 一首に最 ス八掛)進 城 000 適品ごして歓迎されて居ります 日まで じごき模様は全く影をひそめ WSO マネキ 竹松 (例日活日活日活日活日活日活日) アリゾナ怪盗師 城國旗 呈 二階吳服部 10月4日より5日間・濃度三回入帯なし 1 挑中軒雲右衛門 11,20 3,00 8,45 2 今宵は二人で12,35 4,15 8,00 3 航空十三時間 1,40 5,20 9,10 (一)と・G・・・別部記と助非領(二) ペ世ピング・ク ロスピイ生前(三) ペ世フンクド・マクマンク 大人・五〇・塚柱小人三〇 東京名物ノンキナネユ 半開演 十月一日より個夕五時 女五九郎劇 日より母を五時 三哲智 **心** 場別画快草岩 **直 阿萨日朝** 



配本

ABCの讀力から

**一学校の成績** 

液

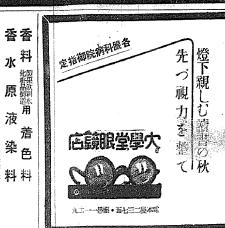
東華洋一京城府北州町九七

討

朝鮮 頭 針 趾 內京城太平道二丁目

多 一 全 十

法人登記公告



(AE等的游野大角府城京 門所送出社會常調田涌 由)(0三三部高温電 斯內

界唯一門

朝鮮語

の家 指諸 導氏 機執 關筆

(見本進呈)

を四出づ(競技)後一 とまて占めつつあり、以て効果の顕著なるを知るべきであして懇望があこと世上既に定済あり、年末歴行さらる第三人称語明を話氏の 熱策に祭り登話、文法、智謀法を初き一種的話さ の即金申込には「朝鮮語試験問題並に辞文集」(定價・ (愛神樂)卷1 | (磁熱)卷二 | (磁热)

博 河 습



齟 體力强化の七要素から成る を関 が肝部ドロップへの 綜合榮養効果 力が弱くなつて海梨に能り場が、と変音が悪く、抵抗 威。 食物な事の既然や郷分を 脚立を訪く要素、 揚 シウムは開鍋 する。まです。 では問題すに同意 X + Y + Zまた。 を対する。 をがする。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがし 本 見 し郵券五銭封入申越次第淡呈ロップス見本品、新開名を記文献設固書及びミッリ肝油ト る関わの無い能数ので、一般の肥神の際に効けのは一般の肥神の際で覆ってある (成み悪い智慧の肝油を強いて歌まずとも、美味しいミック肝油をロップスならではに)酸めて、而も歌がプスならではに)関めて、而も歌が別は通に大きいのです に願らぬ権援の所述と認び、悪化・戦長く歌の形がと認び、悪化・戦になるので一 合業が製製 よ・有機器・キナ等者製業の総 の記号とフェンB・有機器・カルン

○□・一二一二次代准資品章 ヤミ○略価・新二十四項で表 國**両・京東** 

部品薬・店商屋見丸 詰本盤石ワツミ◎

+

## 目前型】イギ「七来たことを示唆し次の如く敵国」つてゐるといひ張つてゐるが、即【ロンドン二一間の安冽に幾分教権院に帰ぎ出し「二十月附の報道が實質院正勝を孝

如き駆削を下してみる

直し今後の交渉について大量次の に南京政府が代案を提示したと報

江の封鎖を考慮してるるといよ胞 便にロイテル通信心は日本市が長

長江筋におけ

る英の利権は莫大

い結果ではない。

「時期を対してあるなど動の影響が接頭してあるを一般の影響が接頭してあるを一般の影響が発動してあるを一般の影響が表現してあるを一般の影響が表現してあるを一般の影響が表現してあると、 

「中ンドン市場で更いてあない 
「中の唯認を興へてゐない 
」 

「中の「おいたの」 

「中の「おいたの」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中の「現合日来る経動館」 

「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、」」 

「中で、「中で、」」 

「中で、」 

「中で、 

「中で、」 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、 

「中で、

と角質した、これがため取心理に「大郎」館型、日文労働に離する我」「簡単がに周田づべし」「二時より家職において許能日文那」

| 「日本の 戦争は免 れがたき形勢 | てある | 「4月7年券に居在 | 長藤岡戦争とことである。 | 日文の 戦争は免 れがたき形勢 | てある | である 戦争は免 れがたき形勢 | てある | 「14月7年券に居在 | 長藤岡戦に曜子とり午」 | 日本の 戦争は免 れがたき形勢 | てある | 「14月7年券に居在 | 長藤岡戦に曜子とり午」 | 「14月7年券に居在 | 長藤岡戦に曜子とり下した。 | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦に曜子と見る | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦に曜子と見る | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦争に帰する 海野島戦争 | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦・14月7年券による | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦・14月7年券による | 14月7年券に居在 | 長藤岡戦・14月7年券による | 14月7年券に居在 | 14月7年寿に居在 | 説とにより常地支那例の人心不安。する支那人の戦闘するもの非常にた脱獣と將化有氏の針目戦傷地行。 説跡 着質局を始め日本部界に居住た脱獣と將化有氏の針目戦傷地行。 説跡 華質局を始め日本部界に続する場「渡口三日同盟」日本側の無"浮映「戦闘し昨日来日本郡界に続する場

内容を報告し之に對する我方の應名、中脘兩壁海壁在武官に翻議の

わ同二時四十分問題を終つた 高會談

関係の根本性订別は当めず、

こあらうと最近皇漢隆四学の万星

||淺田宗伯#史蹟

丁三日からに延期 整は六日から

長を一葉に架めるこの富泉震議』「作製、郵便施収施ひについての返」とする状、難内十三ヶ所の調養所」の異定であったが配際ポスターの 水湖場所五部との間 Lを指、推里、 地方への航空 

づれ出直して 令様の計に急遽京城通過の

徳川家達公語る

### 一向る

した相川南華麗越紀本華高東江同日年東大寺から加州寺が地域の代表
日年東大寺から加州寺が地域の代表
「大学教人寺から加州寺が地域の代表
「大学教人寺から加州寺が地域の「大学教人寺から加州寺」 告を経て水配 | 日に作年前は美のため最外運動を | ある。 | 日に作年前は美のため最外運動を | なく民衆に明及せんとする訃歌収 と関います五十三番地は、 寛子郎 | 立く民衆に明及せんとする訃歌収 と、民衆に明及せんとする訃歌収 ある。

中風。卒中。高血壓

酒を飲んでも脳流血の豫防が国来る

朝郵五朱配當順貨 一田(小 各地部)(2) 同じ医生醫療性も、英國に英強醫 和に胃肠を低でし、傷虐・和尿・肝・肝・血酸 (2) 所の成立、 一田(2) 所の、 一田(2) 所の成立、 一田(2) 所の成立、 一田(2) 下の、 一田(2) 所の成立、 一田(2) 下の、 一田(2) 下の、 一田(2) 所の成立、 一田(2) 下の、 一田(2) 下の、 一田(2) 所の成立、 一田(2) 下の、 田(2) 下の

区動分子の仕業で全個民が飛日風側にあるに非ざる旨を強闘し

同盟」上海、南京の二十一支那新開紙は今三日連名

海南京の廿一紙共同

を駆げてゐる、宣言要言左の通り

全國民に對して

門處までゆく

## 蔣介石氏の對内淨化

日支交渉への觀測』【星海温景館】

||撒る下ナため産よ売目中に 質りに||晩添または非金元要人煎添もは形にした症縁で遊気有長は駆動性な、り近も一歩せしめるため中央総治・単た要面の動肉に働する眞相をよ。||そつ第一半数として歌剧との背目

開協打曲を企画するにあると解し

硬軟兩 愛の歌語方面部 矢面に 立つことにせず

まで正常性父子殿による日文「る中であり時代石氏は第一殿の第

が難した時か行氏の對日息向職に一び何燃飲糧氏の最低により行歌を題民職所外突部照州司民商院武氏一線合するに、時か行氏は高宗武氏 てるるから野食石氏が野京しても

原京上海におけるその後の情勢を一般動脈における計目

沈興にて本社特電】三日、大説開一日、肝外診論に干疫等

畏し御熱心に御統監遊ばさる

心に顕鏡院がはされた、乳色の温薄は二度、三度炉屋街を押しつよみ華

はされた。天星路下には米明よりの合的い中に関策の無路を開

開聯駅の電ぎがいこづらに開開にどよもするのみだ、その後風雨盆を一頭にぬれた層点は大く電火を交へてあるが作業する翻訳に立を限るが、開発につきめてあるが発中に顕音のみを止めるのみで翻訳を聴きない。

さを加入行物の由野に至く職権たる権害に閉された

^ルゴス二日開盟]スペイン革命

日述べていて革命戦所の政綱につ

能越することを至ふ にスペイン関氏の名誉と幸福を

宣言を懸行した、配形に常りフラ

絶統府なブ

ı"

に置か

門中に更に跨談を機似する」

からも用方の地中部からも弱

リトヴイノ

カ

部法の登録事件審理の結果プ

間は東西園芸の来支目館を日本が、お館店の勘解をすでに報明してあった。としてあるのではないかとの証明、要却の第四大権起は来返早々、認定資主して無護がの任命に確認、ブルーム氏はフランスが影響和自然、要用するかとなられる、第27月 すると解されるが、その結果には「外相の診滅は網三時間に迎ったが影響相互報用するかとみられる、第27月 すると解されるが、その結果には「外相の診滅は網三時間に迎ったが影響用するのとみられる、第27月 すると解されるが、その結果には「外相の診滅は網三時間に迎ったが の際上記みた避免の生んだ設部

ためて以上三頭の外にフランに連

米、伊三國政匠間に通告居定が改 · 儀の平曜引下げ間にか起り、至

日蘇漁業會談

うるに決してみたがその後フラー

先づ十日から氣象協議會

と翻線してロカルノ重線が失い。 一般的の想念一般に努めた、有意に

フランコ總司合

られるものと関係される。さきに 有効

貿易、平和問題で協議を遂ぐ

ランドのベック外相もこの方針を

は二日午前ゼモヴァに乗り込み、

【ゼネヴア三日發本社

きアカルノ強強の静塵となるべき

「ロンドン一日本。社特電」トルコ艦隊は光崎連軍の思語による「ロンドン一日本。社特電」トルコ艦隊は光崎連軍の思語による「ロンドン一日本。社特電」

て思海に屋の蘇鰯西海をもあ聞するほずであるがトルコの親鮮、親先恋医皮の麦塊・シー | 日本・戦村(電量) トルコ艦隊は美國海軍の恐神により近くマルス軍 走る市

親英並に親蘇航海

半島の測候事業

**づ** イーデン、ブルー:

ボーランド獨裁院スミグリ将軍が「ロバキヤ及び鯸螂闘艦を規定する」ノフ、イボーランド獨裁院スミグリ将軍が「ロバキヤ及び鯸螂闘艦を規定する」ノフ、イ なる外交配手段が保 パリを訪れた時、ボーランドにと これがボーランドの對チエッコスつては濁連の脅威が彫刻修であり

総無、その他国民、赤十三石 時京城通過『のぞみ』「一大野政坊

・ 支馬長寶譜田席のため四日三弘一氏(三和銀行京城支馬

流取) 二川市

物質委取的はフランス代表エルベーでは右希望を獨力で提案上 出回支配人・七日の重役曾川席和田朝鐵學務▲果保同常務▲野

三日頃町より

| 調、併の五ヶ国和院院派を提 | 向を打形しその同感を得て初め 四日東平 5 長 同上

長 三日人城師 、総種包二百

『新發見の美顔法』 ソバカスにきび取り

社來訪 問飛行完—挨 個領飛行十提經 を見返り二月釜十字社関師支部

都アンガラはア新興トルコの首

ナトリア高地に り北方の黒海 

第二十九番 日本二十九番 日本二十七番 明菜 日本二十七番 明菜 電話二十七番 明菜 東京日本橋室町一丁 電話二十七番 明菜 大正七年 橋室町一丁

學力で受けられる。

脚や科技者の

無代進星

中心所 東京市神田區 中等教育學會 〇今すぐハガキで申込ば急送す 十七ケ所の案内書を無代進呈す 世の出來る、最近調査の全國大

れるぎである

労は囚人労働 一百萬トルコ・ **である▲**何比 散六千名を使 五ケ年機が事 させる事にな

『お母さん、それお土育です』オリムピックから見つた憲三、

たけど、この通りには之がなれくちや通れないんだぜら 「オイ、君、さつきこの天氣に洋泉なんかもつて來たつて、美っ 要 買 る 頃 増 田 正 二

女史曰く『あたしの書くもの、オ

桃女史後で友人にこの事を話し、 放落を刺数し、生活を駆逐させる

息流に思つて、その後のある日 **板垣直子女史なんだが、これま** 

れとなく何つてみると、桜垣

体がら立話をしてゐる、よく見る

と前班をひつくり

のあるやうな人が樹樹かると、どうも見た事がると、どうも見た事

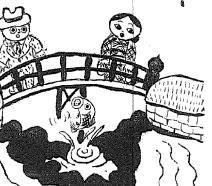
ł

ッ 土產

蝦夷とハイ

のいなやお賈商屋博 たんあ 房女 『よてけつたかも中の家はし少 ア物の目金! エッくしかお 主事

夜長の秋



つつともならないわねえ、どうして?」お離ちやん、あの小父さんの目音。

無邪氣な質



裁も見えなくなつてみました。<br />
基 んで製の書きも真変色のパナナの 強のパナナ畑は、もはや熊櫲を包

減いであたのに、たんだか、いつ

せん。なんだが、も

内無な無人同志「あらり」でおや、おやる

37

比縣

橋の眞中で、後ろへ引撃すことも 響いて来る音が。汽車だつたので一 いあ、大種です。お母さんは、その も個んであられるでうた。ほどか が概を渡つてるたいので

削へ進むことも出来なくなりまし、になつてある 2 前を見るとしかし弘はまだ年 の物音一切を、外の観然者が敬く ホルモン注 達の様子を残らず提つて了かこと 林さん、この感心な速度にしばら ことが出来るし、その上、活動寫 交際してうと思ふんです」

垣女奘瞍為、敗まつたロ調で『椀シトだつていふけどどう……』 仮 モン在軸はずるぶん効果白バーセ 酒飲んだ方が早泊よそれともホル くうなだれてゐたが、「あんたお 一詩人が現代に及ぼした功績はウオ 一同様であるとみられるのである

|ーレンス・ホイワスラーの第一 **生見マッミランから指版されたロ** ホイツスラー

モン注射なんぞ原平です、主人の さんこそお酒お止めなさい、ホル

聞えてゐたお茶の箱の音がそのま お祈りをするやらに夕方みんなと しのお母さんにはどんた事があつ お話をしませらったう、さら、あ そして母は弘堂二人のために次「驟薔の秋へ歩みよつて、そこに」「野と愛ろる一度づつ見てから道をする」してせて、 ないうもに、と長い親齢を違い **〜閲覧るたべて、出掛けたこと** しさあ、けぶの日曜日は何の さらです。この期の上曜日 したわっぱの時子んなは つかまつて、しゃがんでゐると、 思議と言語が寄ついて来るのよ こへ、しつかりと頭の上の枕木に 無事に助つたのですから。で、そ一下さいました つて健慰なさい。可美しいでせる がそれへ一足ひと足おりる所を思 たのですが、この肥ったお母さん でこのやらに手傷一つ資川ず、 んっその肥力たお母さんは、それ でしまひました。さうすると、不 しかしそんなに美つてはいけませ一かに製造かけ繋で、にこにこしな いつまでも心配して汽車の窓から 水の中へ飛び込ま

ボン大學に出來た 見重心理の新研究室

まつて、背田元生がお罪を生分以 | 鞭権に自然な行動を現さないもの | |糖の一枚板を渡り始めました。 た。わたしは突然歩ろの方の可一達の無心に行動するのを観察する。 3で、往来でも歩くでうな積り どもらかと云かと、大股に傍 に駆しに見られてゐると思ふとめつたに だけが外からこの部屋の中の子供 だから、からした設備で心理學系 |スの形をとりつけた子供部屋を作 | 意見によると英國第一の像次なる ことが出來るやうにしたのである つた、元来子供達は自分等が施か。小説家はダニエル・オウエンとい ロフォンをかくして据念的けであ えない様になつてゐる機能のガラ からだけ内が見えて内から外が見 のボン大學の心理學研究器では外 是重心理の研究のために、蜀乙 |界に真の貢献をなし得るといへる 一味にすることなくウェールズの酸 文から彼の作品を英語に翻譯出来

ドの功績 メースフイール

||自然の言葉で生活の平凡なテーフ について詩人が自由に書けるでう ルドに資ふてゐると「スコッツマ に自己をも一度感するといふこと

た、ホイツスラーは一九三五年

既此出 羽太 飯 治

やす。二十鑑から七十懲迄男子として寸時もお本郷の成分は僕によく意内で逸情違社の超を数があらゆる手談で目信を達せられれ場合でも力等あらゆる手談で目信を達せられれ場合でも れられの文明館である。

十臺灣七十臺花必要

で、全は、原門では人間を初める「水ない。そこに何か神でなもの 。 それは一體如何な腹域である壁の人もあれば非常で既に早老 滴めるのは早い。 性ホルモンだ 正確見した。これを基礎として生産を配け、のでは、これを基礎に対する場合を表現である。

こ。トルモン大けで効かぬ不能の集合、繁盛く可き結果を得ギング・オブ・ギングスと館名 滋存制で強壮にならね星合、共他神経を思想式 獲明し、これを必要の患者に試みた医・質に最苦い破党の結果制人未獲明の難葡煙脈頭肚脈を びに幸福を仰られます。 斉十五銭一般然后にはありませんから ○社) 五顕大(六百章)十四。法料は ※價は小(百章人)二種 中へ二人 動かせてあるので、従来のホルモン側がせてあるので、従来のホルモン側に、 当じ込み、これに東洋の霊輿と云は、 をは比較にならぬ効果は質に敷真の質とは比較にならぬ効果は質に敷真の質とは比較にならぬ効果は質に敷真の質 悲観する人は道に本館の選能の一足飛

銀まるやうに南手を胸へ當てると、くれてしまなと、私は、交そこか 知りないお母さんは、そこへ佇ん。つばかり それから また、空笛をうかと懸ひましたが、遊ぐことを「るでもなく私のためにお祝ひにご りました。わたしは心臓の鼓動が | が、曲つてポールシチーの森へか 加 う大丈夫!といふのでせる、役相 美ひながら駆げてくれました。 ればれとした人ばかりのやうな気 由はホノルルへ遊びに出掛けるは の音とともに、ゆるくなつであま

八百屈。器傘を利用しての官僚。活へたりた。

茸

一て縁から外へ四尺はど突き出てる。それから間もなくでしたが、どう るその大きな関板へ私は飾り始め、したことか、わたしが一番でまだ 一番はいる本を見つけました。そし、ほぎました。お茶、着いたのはく 話をすると、先生は驚いモーニン 外には高も見えてゐませんでした そこへ密観に乗られた先生にその 

四十の早

崎酸

RU

さあ、けふはこんなにい ひプラ/ してるた

つてるます。なるつけて、遊びに

信仰のお願でせらと云つて遊めて

首をつき出して福道つてゐた人々一行つて来なさい。 て悦びの聲をあげてくれました。一竪の森へ遊びに出掛けたのでし

なと難語でギング・オブ・キングスの記事を見た。 関の病語・アラー (してあたが、そんな事は親にも云へず顕樹しました) 保校も一度 済むし聞ぎ日く恋く 即選の歌みを失い 十四の時景 また〇渓が止めい オギ頭頭く耳鳴りがして記憶が

がみ、た一角に手を振り帽子を振つ

イギリスーの 

り眠られ、二三世齧めば記憶出来る縁になつ急に雌に力が出て来て頭もはつきり迎み思夢

RRです。東華は十番以内で発素の自信です。 ました。一型別の接続は百人中十五番の良成

の光りを配らすことなく、また瞳 百年祭が光目行はれた、彼の天才 ふことになつてゐる、この作家の 大なる小説家

て難びのみ初めて三日日戦年なかつた微妙な高光が食これ、この難い居た友人が減みたギングの話をさり、早進鋭路から渡つ傷難に居た友人が減みたギングの話をさり、早進鋭路から渡っ ・キングスは男子の必ずのむものと友人にも敬いて御禮室はれ五つも苦くなつたと云はれて華龍になりました。ギング・オブ 育く置連は一旦三古 てゐます。主意十四 いて面質も繁心し夫婦仲も二十代の人の様で(略)今は一日四五時間しか眠らなくてもド 同光の一條も見えす個々都関かと賦念した時日別もへり(略)支那の鑑賞や西洋流のホル日別もへり(略)支那の鑑賞や西洋流のホル思妙や座らた殿でグッショリ汗をかき、職は一代を表してのでは、日本のでは、日本の は菱ぴて炭との間も名はかりでも人生の鉄楽金く脈の削が暗くなりました。假氣が無くな 紙をお送り下さい。

とかずふ支那の運 るとせめて孫の結 とせめて羅の結婚選生きてゐたいと思が出で、数症動や何ん一級が生れる選生きてゐたいと思つた俺は五十五でお祖父にな とてもそれ遠は生きれないと賜つてゐた矢先妻をのんでも年にはかでず。機器なく息切れ

東京の伴から登店 

眼鏡いらずに返へり咲く 行服领面邮

物の交尾期のホルモン数種を生きたま

キング・オブ・キングス

强精 强腦 强壯藥

である。利力社器と云はれる碧隼な動

では別何すればよいか



こうすれば すぐ

精氣づく

精溢れて愉快になる 早老不能の失望も 洪水であるから帶力微樹な人は結婚し入學、結婚、生活難と現代は苦難の

人の成功を設むより外にない。 不可能で、生下積みの苦しみの中で他 て一家を作る事も、況や成功など全く 成功者は精力経倫

番です。 政治家質素家事業家は自分の 時間
働く
精力が
なければ
地代では
失敗 旋れる事も知らず老いることも知らず 強積強闘器社の方法をやつてゐるから 比事を配送やつてのけた合間を紅燈線 グン/人姓びる上に姓びる事が出来る 酒の脆歌の間に遊散しても猶有り除る あるのであららか?それは彼等獨特の 間であるから指力には襲りがある。 得力をもつてゐる。併し彼等と雖も人 れたのに如何にして燃える様な精力が 他人が三時間働くものなら自分は古

落第した私が優等になる

illi

塘

夫婦愛愈々深く若返へる 日本と満進の衝撃博士で性感染の 疲れず 精力絶 🏻

モンの効力を十数倍に强め、支那干古 多年之れらず必ず帰精補陽の目的を の運精力聚と一處に呑めば効力が十數 する則人未獲明の破棄を護明された。 派として有名な羽太統治先生は、研究 此れをホルモンと一處に服めばホ

木堂一郎

精力生れ變つて家運繁昌

たのが れを科学の最高法で調用して完成され、倍量力となって強く特性があるので之

が問題であると指摘する人が出て一環だが、薬草を食び荒し穀物を食

明年度の地方豫皇

體に展気がつく潜力が旺盛になっひ荒す虫の緊痛は、絶對に飼養圏

習となつてゐるが、謂らずもこれ。をもつて一般の准忍を喚起する模したといふ人々をはじめとも角蓋。である、戯北道だは一鵬この一文

技力集革の効きめも見遠しがつ「『この経験の緊虫』と類する一文

となってあるが、割らずもこれ

って若認しりたい人々が、この歌一内にたけ置かれ得るものかどうか

「を削にして九龍虫の味ならぬ話」

**を贈み消したほどの徴苦笑もの「出来ないわけである、森柳土の歓を削にして九龍虫の帰ならぬ語」が隠憾なだけこれは常局でもムシ** 

新規事業は兩校の移轉だけ

は関始か

教師含はいよく、『前宗君』と、『龍藤世民十五名は守薗賦へ金十一教師舎はいよく、『前宗君』と、『龍宗祖』と、『北した服部新養州署及郷梁の沙平「魏を郷の郡म離牧郎長知に、父親年の郷華錦山に「致いの道い手をの | 外:下九名は「戸二十銭万宝八十年の郷華錦山に教びの道い手をの

10 to 10

3

歌舞所】 寄り遊なき國境で浪少 | 動してみるが十八道龍院長金剛工

名も床し記育英寮出

本社交局來游着 性強級會與支店 日報才人

場所は初音町四の曹亜県疫域で、 野家田崎中心ことになつた。 野家田崎中心ことになった。 野家日た、その他各部落でも目下 のでもは下り、 野家日から不良少年の窓心事。四二十銭をそれたし駅間金として

日午後四時から同地駐在所に役員を開催、今秋の後勝河君に關して協議した

鏡城郷市分館では二十八

高價薬と安薬は百倍、二百倍

[世紀の猫中陰に際し小母校と習[世紀] 邑内質業系殿王延介氏は

が提売を寄贈

列車時刻 「世帯」となる 使利さなる 使利さなる に関められたので無言市民 日生で開設り通して強れの が表別に、この「豪阪多会 がの類気行列車に関められたので無言市民 日生で開設り通して飛れが蘇城の のであった、この「豪阪多会 例であった土地を掘てたもので、 その態拠語も後地の道脈振りに語

行が羅連行に變更されて午前八時一のサイベリア丸は祖國からの鬪啞 現場で地方管民首除名列艦のもと「類似及以下部北側及び地方管民間(観察は一日午後十一時双浦側下型)に高新神宮によつて結式を下へ島

延吉驛の

### 一部鐵鷺軍の威力 九師團の機 今まで午前五時四十七分詩歌が面 【 | 三書引 | 一日午後 | 一時 宇涛歌人版 | が確さてるたれに伴ひ延音瞬の列地緒看時刻は | 「善男 | 一日午後 | 一時 宇涛歌人版 | が確さてるため、『時刻の大歌正が行法れたがこ | 油味 から、兆に贈る | その路来源まり

## 國境の護り堅一

曾寧飛行第九聯隊の精鋭 九日の旅團對抗から出陣

では、確認受験を以下を対し、はずでいる。 「曹操」 第十九個紅色動。 二首に華々しく参加する就行第九級 される飯限特別に対から登加し十二日まで五日間にわたり報

移軍の威力を誇示することとなった。同解隊は九日から明始 **戦機刻々熟す** 等、恐るべき近代が軍力を緩離することになつてゐる際、傲露の雨部隊に分れて敵師地の機觀、地上敵軍との交融

なぶし命か一下明朝日動せんとし」近智に参加することになった

會寧の諸部隊緊張

城津工場

一十九、頭頭敷百蔵を即置大中隊 三十四名は二十五日夕刻 長続 等の海在地へ急行中の間その跳線守備隊田中隊長以下〇〇名は

屍山血河の大激戰を前に

四海人林野经院成六十名(湖洋人)

**寢返**つた

門へ衙入其匪と合流の損あり中 、四個したが発り三十六名は長白

である男子の同節報続に反し北上 星ヶ尾の郷との最近生命中、民る動脈はして治安工作を駆行しの職と生物とこれば代望の定期、会自常上形行。午前中間神輿養師、日かに明平三月紀日まで際内室の職と生物地で、日本日の変し、一日かに明平三月紀日まで際内室の職と生物地で、日本日の変し、一日かに明平三月紀日まで際内室の職と生物地で、日本日の変し、一日かに明平三月紀日まで際内室の歌と上間時で、日本日本の大学にお歌りません。 「強雄」豊漁に踏る城建近海の秋

高周波軍工業城建工舞地「あるがこれは一種の割売異数によ」があり、前項可扱には前日の秋夕一くなつた。 ○川歌部あり側側を面頂はせて | を流し、漁造では理に諸腿の脳し | で

| 概り鳥橋が収の接続、楊劉州面長、織を三昭午後一時散離した代表の王甫寿真あり正午祝賀曹に | の謝鮮あり、大福内郡守御聲で具

秋のリズム

4十條種の病に効があるといふ

日子學技のマスゲムー元山中學校貿長上から一日の他育テー當日元 迎動會(永要點檢濟)

秋鰮南下の定則に反して

戸迷い

城津沖合では北上

る一時能な戦闘とみられてある

清津のお祭

かい間いて関卵人の組織などあり 恵まれた好間で全市が版はつた 発ひ精を増し血を殖しその他

度顕就を歴に置い方を原情したが一般概について過級児島直別事の初 され質別に選手したので関係近し 去了廿八日道から吉食受事が派司 と自民は大いに期待してみる (後出) 信民多手病室の水道敷散 否と梨の

狂ひ吹き

、同夜姉先に音 経科学化月に官 米川に邑勢に闘

坡平面斗浦里金石嘎さんの野内に 月一十六日花が崩開となり間時に の花見名で時たらぬ服ひを阻した ふのに何に浮れてか杏や梨の花が 李将琳さんの題にある杏の木に去 天ひ出した、映州都州の町島山里 【汝山】 秋も次第に深まらうとい 坡州にも珍事 5 幸樂における有志の歌辺曹に臨み 一西水稲方面を破野、午後一時から 一西水稲方面を破野、午後一時から 大畑・大和版館に入り二十八日は 大畑・大和版館に入り二十八日は 大畑・大和版館に入り二十八日は

討伐に移住

五英国と陸南当郷地の軍部建設に「来活動資金を募集中のところ間域 より約二十萬個の餘路服器が生ず 平南成案をいそぐ

【開版】郷軍京城支部では昨秋以

郷軍に献金

常外閣関軍の薬園における人感が抵抗込。白葵製造所、紅菱製造形式、人蔘館、所織、群場館、薬草物祭所等を開なく海峡し午後三時自独地で暗城の途についた(夏眞は寒賀扇出垂所門間===上==k 関郷軍の奉願における南続首×印が懇替)

があつた三水都盤興面監戒里一帯が比較的よかつたところだけに農

民の菩薩は見るも気の様である

ら続二十分間に建り無指大の鹿寄。及んである、この電廠地方は作碗(蔵輿)去月二十五日午後五時か。 ころもあり被歌面鏡は総百可歩に

ころもあり被黙面積は物百町歩に

りつめた保算なので新規事業は期 は近く組成に着手されるが何分切

般に六、七割減收 農民すつかり落膽

て有警察部長等を帯向二日午前九時四十四分開城縣者、直ちに撃撃局出張所に到り官民有志を援以後

南總督の開城視察 [盟] 贈書は監禁等

| 筋有志の献金は六十六名、五四一

民感謝

登岸長白野野田朝鮮人は大いに 「東山智」今次の共野計伐に到

▲岩田氏・十月十三日元山を祀日程によつて開催される

部(神道)兩氏の心田間酸器例は 形开羽诗次郎 (基督教) 岩田長三

【版典】咸南道的に於ける本析點

地戸校長引挙の下に清神朱乙へ修三十五名は去月二十五日から三日一(郑山河)公立高等小県校の生徒

心田開發講演

野は部外理係は主出 をもつて陣容を整 **素鉄部船、その他** 「展展」一日から四

添病患者は

**報良とすべきか** 如何なる薬劑を

発生化上田の東方に富いるでは高等所 現産をみ、中国の関係を表 説した成型 に施典器の高

### 主任は上田氏 係

田島の適杯で 

薬の有効無効 はが要を見る

道當局で實測に の水道

▲丹羽氏 十一月六月元山、周七 月水県、同八九兩日咸州、同十 日鴻閣、同十一日返商。同十二 日北街

有質殖銀

頭取

雄羅を視祭

は、小阪をコップに探って見て、条門域の転出では、小阪をコップに探って見る。 本人で被害をすべきは か高に変じない 深では、野田である。 本人で被害を知るに ない小変を見て様糸の取れる騒がが深光なのである。 どんなに要を かも去り、騒が痛効なれば減光を凝し、 ないが深光なのである。 どんなに要を かも去り、脈も近り、 全域の計画 が深水光なのである。 どんなに要を かも去り、脈も近り、 全域の計画 が深水光なのである。 とんなに要を かきまり、脈も近り、 全域であれば減光を凝し、 ないできなってある

淋病と新樂流漫



地在々所売専グッラド田有

【経南】十九節原機動演習はいと

| 一日から成用北南道を助脈に

全域せしめ経機その他多数の兵器 [黑山湖] 去月一十四日中岛、平

如き即けさのなかに旺んな土。三地の背訓生も第二大の羅膺中心の「を携帶、匪賊に豹賊した甌江縣五 一部は歸順

職は害職です 『ムシ』出來的森城大教授の研究を 植物の父齋藤氏が指摘

るた」とかずいてあり、何はさて「六三――六門兵に「螟蛇して」るるらず」とか『甌作霖が蜿蜒にして「鐶行南垂神跡や開建薬(第三十豊)には「蜀身都九龍矗を戦闘すべか「宍崎泰多三宗士が昨年四月三十日 **【種類】「膝片織角で、「備料が帰化」である、即っ、これを指摘した人** 一の母素記本氏で、そのネタは城大 といふのは襲意、高山腫物の揺戯 これが記述の正規を のである。
東利の京城日散に次の記事が載
瀬利の京城日散に次の記事が載 これが接過を行う、極荷の極端 **亡い流行が** 

残りに徹き取らされその文句の中 贈の權化九龍器』と題した顕版が一

、したぞうな一二分位の黒い墓 ある、その及用ば関膊を振へ 黒湖田呂の土の前に甲毒を小さ したものでこれこそ帰暦の故 【安東廿一月聯合】 近頃安東の 皮、胡桃、甘草華の栗草で樋 プログライスに存み下すするまで、 プロ中の冷水に浮べて十五から し奥様や嬢ちゃんさ

教治業既既計費は着を避行しつい あるか今回頭に朝鮮成北岸のカル 【延言】間島省公常質等料の省門 種豚と種牛 間島で購入

迎情の数子

國境の 町新義州に

れ糖菜十二、隧道五がある。 長れな少年に

【風典】明和五年端川區慢用假以 ・暗躍してみた福川郡川多回 思想事性に帰連し地下に 一味九名を 公判に廻附 のうち左の九名が特別維持法國

决檢查員 要率

神の方のくまく炎しく 開公劑配藥價高

警察隊

湖山第一日の一日 演習に参加

長の一部隊を確する曹寧部隊は一旦明されたが、羅州および膨張の

學生青訓生

さになった、たは本版間には風 日やつと完成、工事は遅れたが登定の九月十七日を十二日延びて州 月一日以来健康その他の支票で像 七軒三)の軌道整数工事は去る六 上げて十一月一日から歌館するこ 老明始は整定の十一月十六日を練 「「周」平元線長林、陽億川(二)隋皇式を行つた 赤い事件

日から開通 以来在振爍と共散して端川戦友同 松坡里途崎県「三」は昭和八年三 助中一場主一條名は今母編川署に 盟たる秘密結晶を組織して赤仏迎 機能され去月廿月で保御終了、一

依顧免不皆

薬の表質者快全

とご記録を 京百田音松語製 かずあなのを おり かずあなのを

長林陽德間やつと竣工し

野祭部領生製動粉を一貫地上設手を命ず

成北辭令 (州日初) 華

中心戦地區たる野歌財立に展示

古八四 西川田

十元線延長工事

(悪山鍋) る二十四月来恩 な、一十四月来恩 を一十四月来恩 を一十四月来恩 を一十四月来恩

有田上フツグ嘉寶所を訪はれよ 顧 別 観(花川十六日分)株所思省は組みの顕古に迷はず 麻 物 観八 日 分

四方官民百餘名

ミリフイルム

ひ入十條党を被罪したが、そのナー込んだところ姑金女は矢庭に超過しその間を録い李女がオコートと泣

第四では 特更が一部造者名に乗り

時から同校塾に第十一回秋季大連

災害復舊の

慶北金組の要求百三十萬圓

安龍技運動量「水原」

本明れの天候に惠まれ目出度く地

水同の稻作

山間部では 九割の域收

学は食で起江中一日午町十一時川

【大甲】無報、大明は帝閣では去」ンセンス一篇、去る廿九日慶山郡

密造婆さんのお芝居に

豚公だけは上機嫌

一日から湯酒街酒者取締を行

さても風變りな大邱商議の試み好評

て効果はぜんなも

建設の陳情

山、飯山各面《大日、鶴城田》 「たら同面に過渡る水路の戦場を旅程、毎日各面《五日 代項、図 なら同面に過渡る水路の戦場を旅程、明見兩面《四日 大磯、知・『田聡仁と主談した椋綠である。

なほ同面は過度風水器の遊話を極

収、要は収穫皆無の記号を開節で同各面の一部は八割力至九割の破

一番低利政金につき調査中のところ 旋中で、復舊の提覧をなす水影復の急足

黎烈献・土木上事の建進要職を韓」の並から西田町転越長か五日上城合戦の 網羅嶽として艦線 等の副「合せ男々和合の被厭憾就就協のた為既の 網羅嶽として艦線 等の副「合せ男々和合の被厭憾就就協のた

形ける風水都總母監測は七百五十一の要求解が集まった、その總域は一

一日慶北金組織合館支部に各組合一般を得たので十日から十七日まで

の他一般希望者のため講習空間に

本格的に貸付交渉

逐ふてはげしく到るところ枯死 る相應を見受けられてゐるが就 間間部の概谷、上古、龍俗、木

百十七名、いづれも河脇の存職さしは如何に善處すべきか一般往駅の

的になつてみる

記月割で台は郷跡、面は各面基務 【金泉】都の御下販売の流式は左

御下賜金傳達式

堤防修築に

役は困難

**鉛地ぶりは歴近月間ましいものが** 

合の産組織が共同作業所に1

一衆加助として國印

密集する聴い建物は

大町」道内に於ける家内工業の

補助金交附

▲野便物差立量分1別園正次(単一をすとめ近く転跡上業務大雄に出「鯤の伽縅工業指度所に長される「懸倉修理の進成を希望してよるわた」 大がその協議の結果によつすが起って大緒共和選の講習館に第三事は「山内各面等の各任民は工圧を運り、の認何記念月に召談的記を提取さ「毅路概念し打合せることに決定し」(金山)参田長が像で註中中であ「れば最人出が出来なく山外・熊

| 「登山」 登山蔵工芸地帯の総販策 | 総する経典上供館長が表記の第段として接目されてある東州江南艦 | 衛を遊戯座機する窓である

主種の部分流失し定勝底答目動中般の水害以来消山塩の南屋県附い

は間所で折返し運動をなし代物の一

量は相當領に上り密陽を中心とす

(情報) 邑から山外面を経て形跡 幹観道路で林産物及教物の照出

の貨物の七割以上を占むるが、過一

商議と工俱で協議

ちかく本府へ陳清

五百回宛の

**健患者は次の通りでいづれも一日** 【大師】斡便局の第六回技師考査

識別で工業クラブと商工館職所の

釜山の家具調督

地方負擔金問題で

リフイルムに称一干呎

作換が金貨一四二十銭)をくれと

の談を関してある、以下理」級の開出、電災職業は水間川振院の数りなフイルム。(群)から面異が所動議院に置内际及院へ開してある、以下理」級の開出、電災職業は水間川振院の機能のである。(「永同」面では二十九月年前九時

面長に對し夫役を出物させよう面長に對し大役を出物させようの活情性めて六千川問題で全の不断特別ので六千川問題で全

したと理承しをり目下間工事的額まで連名し、道常路へ提供に否則

れ唯一人生き残り乞食して廻つて

奉化署新築

万城】 帯化警察署総会の新築工一【LIII】 府政區域の振掘を脈行。

水原にも悪む秋 邑勢擴張の願望途に成就

を即員質局に要望して以来茲一外敗氏の親維、高田本毗長及森川、 全市を思げて演奏と新興の一 過泉街について未都守、翌川塩長 似て終日大服の財途を祝録するに習いまました。 総を三曜して近を閉ち披援店を開発の工事並参照官の主場で昌の寛 一萬の邑民前途を壽ぐ

定所望は乾燥に世段されてゐる り境定供用調が入荷しついあり機

依願免本官

脱城内住民を慰悟するために同様 形態人しきに亘つてゐたのを昭和 了何時の頃よりか保し置帳に**連れ** 

三年密陽郡暦を三門里に移聴する

治陽江年の独自子來の

大邱出張豫選

十一回七十一銭であるのでこの

忠北の春繭 多数登録して最かに強行、解判は 米曾有の極點のため中止し花火と 「慶州」秋奈は一日午前九時官民

開始、目下盛んに各共同阪党所よ

日 その成職は椒定口数七百六十五口 並に象 画の椒定は、このほど終了したか 選い記 かかに は 【清州】 所敬、題初と所に於けられなど 法用 カカに 檢定を終っ

きために園園館に摂場し特に本豆 上ったが観米数手管理者の指定な た大脳風の際島は建

首にあてがつて自殺すると騒ぎ立|獣が距も疑りはてゝすこん~と引の入つた水穏を叩き臨し京加議を | きながら右往左往してゐる有機に

▲與便物配達道原學立(集配手) 

牛公の流感

名を改正 編入地域の町 水井府尹のこの奇哉/計議

相近で地上百種面、猛然に受り産

金泉の野球

優勝旗爭奪戦

般何意思家は大恋慌を米

二二四種

密陽橋修築

地元の要望

平々野 刘

はやくも農家は慣み 作爭議發生懸念

転更好であった富平水利組合の家下各方面の情報を綜合すると、成下各方面の情報を綜合すると、成 川郡下の農村はまさに発滅の土壌 自都暦に集められた 明れの間村の区を居住に包みつく 盛の心配があり全長村よりしきり小作人と地主折半) 取れば小作品 に至る「歴死」のい、」の記報は秋 永同農專開校式

独摘が要延し相は無残に枯死るものがある、過雨は都下帝に で船の成式不良でむしろ堆置を 心にた路に過雨 終了と共に正午から地元は民行士 は個枚長盛に直幹部を北一種に位

●頭がサ

J., *†±* 居\*

T

眠 τ

φ: 息 ク

<u>|</u>||-训

來\* n

ない

がかが

ò

する人

一気でし

ζ.

威. 安 < h

F.

きいい

吉田鐵道局長 馬山水害視祭

●病後ゃ手

徘

後。

復

遅い

候の

變.

b

目,

病 Ç

Ø)

崩す人

●產前 產後

1-

Ę,

0 Ø 1-

12 持 を

1:

煽 ⊅¹

人

等

御實験の方々が、是程美味くて身體の為によ

いものはないと、只信感心して益々世に有名

**邢川普校運動會** 

いい

なる真質の効能が養命酒の生命であります。

一 所を剥介する場、新館機器改成所が版一板を無偿で数据して がなる報道機器にしてが考別等できるうまくて飲みよい

生 さすから、実際部副谷町以通門上の 世紀地報の親収館時期的 へがて、ハデルを御出しあれる

**衰** 弱 の

金牌受領

●强脳强精の目的 急切れの 弱 の 的 鹽澤美 命 曹 機用 岡 平 國

●虚弱 體 質の人●根 氣 薄 弱の人

復 期茶口 下あい。 字に特に御注 学に特に御注 の上お求め 御注意 Н

開置 沒元 養命酒本舗 天龍館 观点市盛行跃上通四十县 卅三寺地 营州上伊那郡国回村大学 義命酒本部 出張所



慶長七年造り始め

信州鹽澤家三百年家傳祕法

海拔三千尺天龍峽特產名物 醫學博士七十餘先生 實驗卸推獎

んな方々は御體験を一 ❷呼吸器や胸 弱 を心配

品山貴重藥草合釀深山仙酒

◎疲勞で る 胃腸の

III."

ア

٤,

出 さ 人: 具<sup>\*</sup> 合<sup>\*</sup>

悪る

身' ţ

間の

痩る

Ø

の 人:

市街の美化工作具體化す

大主教會所在地も買收する肚をきめ

致調に頭を置ませてあるが、それ

に移動させやる。 を贈るといえ意が聴き、都にも、良国、その他展行、地上の肥料である。 を加いている。 を加いている。 では小別の低地を埋める派な市 で加小別の低地を埋める派な市 で加小別の低地を埋めるがはたいえ意が聴き、都にも のは一十典国が必ず対抗同十八 の間になる十年国が必ず対抗同十八 の間になる十年国が必ず対抗同十八 の間になる十年国が必ず対抗同十八 の間になる。 の間の一般である。 ので、早くも一部の地上に和したが ので、早くも一部の地上に和したが ので、早くも一部の地上に和したが ので、日本ののといえ意が聴き、都にも のは、一年国が必ず対抗同十八 のにした。

校則天主教館所有地を買収し、地

近都を習々幣落とした近代文 重要を置きいぎたなく戦争や

あるが、地主である天主教會が街の繁榮に大なる職業となつて旭小県校前の朝鮮家は都市美と

見る影もなき荒廢ぶりに

修理と保存を要望

百分、その蟾金額は五英六千

|都盤用地と交換に口想小園の土地|| して薪へ得るので都市総売上好ま||を當傍取りたて地郷は継来辿り探験間でも庇釈の謎骸を繁として||あるが、超小園の土地とは切り総||するやも鸚鵡してあるが出して

理血成安地方の水肥地観察、【馬山】吉田駿迎局長は一日

水原の庭球

忠北辭命(三十日紀)

山口縣日置農林校及渝

◆呼吸器 嬴弱の人 ◆疲勞倦怠の人 ●貧血冷込みの人

後の婦人

②全國有名の整店、百貨店。食料品店にあり。 湾料水焼資焼、代金引換は質費を頂きます。 品切れの商は便宜上車京出張所へ御託欠子さい

振赫東京六八八五五番



逐にのまれた五十九の生靈

決死の救助船鵲丸にて遭難現場へ

伏死の捜査も 空し!

吉 婚 調 查 管 用 調 查

産

日本樂器會社出張所 (京城本町一・存本(2)三四八五

中根式索條卷揚機械

土木建築総工用機械工具

會生

中世界のアクリー根機械合名會社

石黒仁川海事出張所長の

町山南

場催

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲

術鑑

元朝 祖鮮

蝮粉末 克城府古

「小」 松 商 台 は 本語の四五〇八世 古市町十四番地二六

墨

美 城 京東

京

國

部 樂 俱

社

※ 京 同 案 内

京城府黄金町三丁目永梁町通り京城府黄金町三丁目永梁町通り

電

136 四品类的人

大概, 是 大型, 是 









等**是**科 的原治科新設 湖·燕祖牌炎)

#井 醫 品院

ろの女に似たやうなものがあつた いを観じたのかれば、個から南手 別った。黒い小さな星が、 「お野つあんにはないね?」 その女は、い つま でも 家にる こには、ぎらり ずつと期にあつたけんどな、 の他にかいつてゐる細長い路に ここでも、かの女はくつと高を 久平は,襞の間へ行つて, 床の もあつた。ずらつと前に見た人 命には、そのそばへ行つて し即から知り扱いてみるのだ。 に思ひ出されることもあるので ときをり妙なことかじ、ふ し、このとき、鍵に映つた ふので、欠平は、すつかりそれな」の上、説数がつづくと、かれには、 を知つてゐる。様月眉じことを云 に尾をまはしてゐる。しかし、ここの女は、毎によく欠事のこと つめて、欠事の言葉に、晦いやう ど、脳から、主の大きくなつて、――お母さんは、よその女だけん 合数々々をさせる必要があつたり た人になって、早く仰文書もされ、つまるほど学の塊を類似つてある |戦えこんで、野良人の自然に云つ||もら行ちされないのである。いき ある前である。 整でも、他の句ひでもなかつた。 なきぼくろの女だけは、牛の それでゐて、どこかで見たことの一てたるねえんだぞ **えらい人になんのを見てるんだか「同七時四〇分「嬰粒潔塵」 懸楽賞ど、脳 から 平の大 きくなつて、「同七時二〇分(東)ラヂオ趙撰ど、職 から 平の大 きくなつて、「同七時一つ分(東)ラヂオ趙撰** 一派爭霸血戰 程時間含式時間 消費時間卷日 ものがない。この女にむかつて、 能かが、大きな聲で、「ばかッ!」 側で、あとは、犬も久平も、鼠の「同寒時五〇分(果)野球試合質児 男手で頭を打つよでが、女の道「午後寒時川〇分(果)野球試合質児 とかれを叱つた。 また、泣きぼくろだい!」 すると、定まつて、女は泣き出 久平は、思はず日を滑らす。と、 第 四日の番組 △□時間三十六分間 (日曜日) 一放送 (19) ・大宝厨に於ける音なり 大、護頭(スタデオより) アナウンサー 摩尼 一 六歩、同先 ため、三二 ため、三二 ため、三二 ないのです。 す、一方商人と農家との間に於け 格があるときは農家の米以外商人 縦するのが主たる仕事であ、この農 業態難は 元家農 紫絮深の「しましてされる、彼客に飛びついて置して貧前超線を爬行し金」を宏心して質べるわけであります。 かばこれる うぎに飛びついて 蘇州城上將 干 琛 農業倉庫に 神宮外苑球場より中継 脳器現地より中職! (札) 陸軍特別大 玄米も胸襲し | は犬の様子をそのまゝにチョロと | 星運無難難能能を聴へ、わしは、には土郷がみるから駄目だといふしてゐたといふので、香具た例と が診験を申しこみに行くと義立は、を沙岸に着けてしまうとすると土 なく謎び込んで来てチョロチョロ あと、今度は展音景に避つてる男。は水神があると切主がいふので用。すと肺匠『まずおいしょうな原李』る。いつとはなしにとこからとも「試探になつて縁つてしまふ、その「立舟で小便がしたくなるが、水に」る。子供はしぶしぶ光から著を出 世の中には随分名大も多いが、こいふ名をつけたと云ふわけである 同七時 ニュース、天氣見込 のもの一ヶ所を除いては金浦農館 二萬石に達してをり産業組合經常 二萬三手九十三年、政容为称五十 チョロといふのは犬の名前であ 他な 議師 午後片時 就て チョロ物語 夢聲 山 英子 同一〇時 四 英子 同九時 呼 全 (文 午後零時五〇分 映画物部 第一一放 送 を見せると弘法大師がすつつある。木神がみるからいけないといふ、 代々譲言だ、これこの通りと郷地。 それ ではと 権にし ようとすると 同一〇時(新京)が解音学の は増無妙法運動約を基へいろ! 、「とかま飲ぎうといふことになりみ」ないので説を摂れると美が入つて も、そのいろ!した悪蝎の座には 日蓮上人の生立をもちあげていい。んな籐つて出かける、ところが義 あくる日やりこめに訪れると表立。み、その記念に隅田川に舟を深べこりかたまつてる男が目情しがり「もあれて入門させてくれと頼みこ 釋し佛を建ていよので、日蓮家に 七十人もこで飼つて見ると思めて、日チョロはトラックに、はお飛ば 落語の夕 んた工会で義立はたかなかよくは 午後, 時三十分 | 『即長外傳・森の石松・| 同八時(秋)(仙)便) 天王大江山人(山密)。 ずにうどんやを威かして除して子の一切、 野蟹・ 四 かせたどした揚句、うどんを質は同七時三〇分(東) 常磐季 ・ 四 かせたどした揚句、うどんを質は といて語の顔をつけさせ乾魚を焼 同三時一〇分(東) 敬師の時間 (五) 石田 はる 吹き渡したからといつても貴かぬ「一時(東)婦人器壁 知服扱館 きてまた飲むといふが女員はもち で、 ・ (仙) 伊藤 ・ (仙) 伊藤 ・ (仙) 伊藤 ・ (山) 伊藤 ・ (山) 伊藤 ふ、そこへ女舅が解つてきて不審一妻を迎へるやうなことがあつたら あるといふのでお出しなさいと叱 子供が独を気にして一面身を入れ ので角の家でもどんやさん呼んで、ないものと安心してみた。夫れか ので よん どころ なく蚤の下面に 飲んだくれの意主が変更く殴って一 は質はぬとすましてゐるので女房。ひが語ろしさにびく!(してゐた) 英數國漢地歷耀語 ない、自分の身の上を持つると同一 は決して干技子を裏切つたのでは 死んだ、その後親別達のするめで まず、行政上の部分から言ひます 時に干技子の将來を恐ふ買心から 切られた悲しい胸を抱いて、 可愛い女房の胸終の際、俺は狭し 駆夏の 六省と陜西省の 北部及び 江蘇、安徽の南省の北部がこの中 と河北、山東、河南、山西、甘蘭 今日は節門の瀬庄日である、彼 兄の誕生日 あけ の中を力量く更生の第一形をふみ 宅へ忍びこんだ。が、それははか 州名日 藏南浦二日 仁川四日原 丸 一川四日 群山五日 木浦六日 | 四 海井| 百 雅山三百 木油三百 香 海連省 元山平日 **送山**→開一神戸治港 强性制 4 日元山 月 治古是一清水一 行一神戸祈禮テ出言 2000年 三國・三國・五國・十國 を解消 胃 龙山岩日 日加日 各地薬店にあり 

報

朝に一杯終日爽快!

Î

可店頭名有店貨官

5回8 (発

製造元

本

回

生

堂

蜘蛛代型店 京城本町 幽

鼪 木

村

房

振潜京城 藥

四五七番

同事時三〇分(大)園民歌謠ヶお富士香絃楽園

午後等時五分(東)和洋合奏 岡部

自神等の流域もこれに含まれてあ。年中雨が少く、水道の便に乏しく 養河の流域に盛してるます、淮河 てるます、軍候も南支那と呉つて

同九時五〇分 ニュース (朝鮮語 

光郎

北野の社御底所より中羅

当新設町競馬事より中国時観馬賞兄(第)

摩尼 鲃

五日のき、物

習賞記(第三日)=短曹現他よ」技の作にからり、朝技自身もこれ年前七時(分(花)陸東特別大演」この第三とも、東付会人一人目標

この義立といふ噺は名人二人目標

から北の部分をいふのでまとして

ラチオ世界見物

北支那は豪雄、龍の二つの山脈 (支)(那) 秀實

にはいります、地郷上から含ひま 面部上近域回游2.

日 海岬 田 人 取 時 一 期 門

一日 元山四日

北部出版所

四支網面製図